

研究実施のお知らせ

2026年4月14日 ver.1.1

研究課題名

骨盤部放射線治療後の骨折の発生と関連因子に関する後ろ向き観察研究

研究の対象となる方

2010年1月～2026年4月までに島根大学医学部附属病院で骨盤内悪性腫瘍に対して骨盤部へ照射が行われた方

研究の目的・意義

本研究は、骨盤内のがんに対して放射線治療を受けた患者さんを対象に、治療後に生じる骨盤の骨折の発生頻度や、その関連因子を明らかにすることを目的としています。また、どのような患者さんに骨折が起こりやすいかを検討し、今後の診療に役立てることを目指しています。骨盤に対する放射線治療後の骨折は、痛みや歩行障害の原因となり、生活の質に影響を及ぼす可能性があります。本研究により骨折が起こりやすい患者さんの特徴が明らかになることで、治療後の経過観察の改善や、骨折の予防につながることを期待されます。

研究の方法

電子カルテ、放射線治療記録、画像検査（CT、MRIなど）に記録された情報を用いて、解析を行います。年齢、性別、既往歴、治療内容、血液検査、画像検査結果などの診療情報を使用します。新たな検査や治療を追加で行うことはありません。収集したデータは、島根大学医学部放射線腫瘍学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者が適切に保管します。研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、研究結果の最終報告を行ってから10年間は保管し、その後保管の必要性がなくなった時点で研究対象者の識別が不可能な状態で廃棄（消去）する。

研究の期間

2026年5月19日～2031年12月31日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部放射線腫瘍学講座 玉置 幸久

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は2026年11月30日までにお願ひ致します。以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：玉置幸久

島根大学医学部放射線腫瘍学講座／附属病院放射線治療科

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2582